

## 欧州環境インサイト ニュースメール

EBSニュースメール2012年4月号

「欧州環境インサイト」ニュースメール2012年4月号をお送り申し上げます。皆様のビジネスにとって何らかのお役に立てれば幸いに存じます。

----- ヘッドライン -----

- 【太陽光、地熱:イタリア】EGP、米で地熱と太陽光の混合発電容量引き上げ
- 【太陽光:ドイツ】太陽電池Qセルズ、破産
- 【太陽光:イタリア】EGPとシャープ、5カ所の太陽光発電施設を稼働
- 【風力:英国】丸紅、風力発電据付のシージャックス買収
- 【風力:英国、デンマーク】セントリカとDONG、洋上風力発電の合併会社設立
- 【風力:ドイツ、ポーランド】エーオン、ポーランドで風力発電2施設を建設
- 【風力:フランス】国内初の洋上風力発電プロジェクト入札、4区域が落札
- 【海洋エネルギー:英国】海洋エネルギー準備実証制度、公募を開始
- 【再生可能エネルギー:ドイツ】再生可能エネルギー業界の雇用者数、38万人以上に
- 【CCS:英国】英政府、CCSの商業化プロジェクト支援を再開

--- ニュース -----

### 【太陽光、地熱:イタリア】EGP、米で地熱と太陽光の混合発電容量引き上げ

伊電力大手エネルの再生可能エネルギー子会社、エネル・グリーン・パワー(EGP)は3月20日、ミネバダ州スティルウォーターに保有する地熱発電所に併設された太陽光発電施設のピーク時の発電容量を従来の24MWから26MWに引き上げたと発表した。地熱による発電容量と合わせると、同施設の総容量は59MWとなる。同施設は地熱発電所の施設内に太陽電池パネルを設置し、操業に必要な設備を共有する世界で初めての混合発電システムを採用している。年間発電量は200GWh(ギガワット時)で、これに伴う二酸化炭素(CO2)排出削減量は年間14万トンに達する。

ニュースリリース:

[http://www.enelgreenpower.com/en-GB/media\\_investor/press\\_releases/release.aspx?iddoc=1651272](http://www.enelgreenpower.com/en-GB/media_investor/press_releases/release.aspx?iddoc=1651272)

### 【太陽光:ドイツ】太陽電池Qセルズ、破産

太陽電池大手のQセルズは4月3日、ドイツ東部デッサウの簡易裁判所に会社更生法の申請を行ったと発表した。同社は債務の株式化による事業再生計画を打ち出し、ドイツや生産拠点を持つマレーシアの当局との協議も進めていたが、木材・建材大手プフライデラーが先に提出していた同様の再生案がフランクフルト上級裁判所に承認されなかったことを受けて、再建を断念した。同社は2005年に株式を上場し、世界最大級の太陽電池メーカーとなったが、2009年にはアジア勢による低価格攻勢を受けて業界トップの座から陥落した。近年は製品価格の下落や独政府の助成縮小を受け業績が悪化し、昨年の通期決算では8億4,580万ユーロの純損失を計上していた。

ニュースリリース:

<http://www.q-cells.com/en/press/article//Q-Cells-SE-filed-for-insolvency-proceedings.html>  
<http://www.q-cells.com/en/press/article//QCELLS-publishes-annual-results-for-2011-significant-progress-made-in-financial-restructuring-p.html>

#### 【太陽光:イタリア】EGPとシャープ、5カ所の太陽光発電施設を稼働

伊電力大手エネルの再生可能エネルギー子会社、エネル・グリーン・パワー(EGP)とシャープは4月12日、イタリア国内5カ所に建設した太陽光発電施設が稼働したと発表した。総設置容量は14.4MWで、EGPとシャープ、スイスの半導体メーカーSTマイクロエレクトロニクスとの3社による合弁会社3Sunの薄膜太陽電池工場で生産された製品を使用している。年間発電量は19.5GWhで、約7,200世帯の消費電力を賄うことができるほか、年間1万トンのCO2排出量削減効果がある。EGPとシャープは2010年、折半出資で太陽電池モジュールシステムの開発・生産・販売を手掛ける合弁会社ESSEを設立した。ESSEは2016年末までに累積設置容量を500MW以上に引き上げる予定。今回5ヶ所の稼働により、イタリアにおける累積設置容量は20MWとなった。

ニュースリリース:

[http://www.enelgreenpower.com/en-GB/media\\_investor/press\\_releases/release.aspx?id=1651507](http://www.enelgreenpower.com/en-GB/media_investor/press_releases/release.aspx?id=1651507)  
<http://www.sharp.co.jp/corporate/news/120412-b.html>

#### 【風力:英国】丸紅、風力発電据付のシージャックス買収

丸紅は3月19日、洋上風力発電設備の据え付け大手シージャックス・インターナショナル(英国)を、官民出資の投資ファンド産業革新機構と折半出資して、買収すると発表した。シージャックスは洋上据え付けサービス専用の特殊船を保有しており、英国北海を中心に洋上風力タービン発電機の据え付けや石油・ガス洋上プラットフォーム設備へのサービスを手掛けている。今後需要拡大が予想される保守サービスの展開も視野に入れており、洋上風力発電業におけるバリューチェーン拡大を狙う。また、丸紅は3月30日、昨年11月にデンマークの国営エネルギー会社DONGエナジーから取得することで合意したガンフリート・サンズ洋上風力発電事業の権益49.9%について、取引が完了したと発表した。これにより丸紅が世界22カ国で保有している総発電容量(建設中を除く)は8,753MWに達した。このうち、水力発電所を含む再生可能エネルギーが450MWを占めている。

ニュースリリース:

<http://www.marubeni.co.jp/news/2012/120319.html>  
<http://www.marubeni.co.jp/news/2012/120330b.html>

#### 【風力:英国、デンマーク】セントリカとDONG、洋上風力発電の合弁会社設立

英エネルギー企業のセントリカは3月21日、デンマークの国営エネルギー会社DONGエナジーと洋上風力発電所の開発を手掛ける合弁会社セルティック・アレイを設立したと発表した。DONGは4,000万ポンドで、セントリカの事業子会社の権益50%を取得し、合弁会社化した。セルティックは今後、セントリカがアイリッシュ海で開発権を獲得している複数の洋上風力発電プロジェクトを手掛けることになる。セントリカとDONGは既に、建設中のもも含め、1GW(ギガワット)相当の洋上風力発電プロジェクトに共同で取り組んできた経緯がある。

ニュースリリース:

<http://www.centrica.com/index.asp?pageid=1041&newsid=2412>

#### 【風力:ドイツ、ポーランド】エーオン、ポーランドで風力発電2施設を建設

独エネルギー最大手エーオンは3月22日、ポーランドのドイツ国境沿いの町シュシェチン(Szczecin)郊外に風力発電施設「Wysoka 1」と「Wysoka 2」を建設すると発表した。総工費は8,000万ユーロ。独ノルデックスの定格出力2.5MWの風力タービン22基を設置する。着工が始まっている「Wysoka 1」は年内にも運転を開始する予定。2施設の完成は2013年後半が見込まれている。完成後の年間発電量は125GWhに達し、4万世帯の電力需要を賄うことができる。また、年間12万トン相当の二酸化炭素排出量の削減効果があるという。

ニュースリリース:

<http://www.eon.com/en/media/news-detail.jsp?id=10958&back=%2Fen%2Findex.jsp&RenderOutputType=pdf>

#### 【風力:フランス】国内初の洋上風力発電プロジェクト入札、4区域が落札

産業・エネルギー・デジタル省は4月6日、国内で初めて実施された洋上風力発電プロジェクト用地5区域の入札結果を発表した。英重電大手アルストムと組んだフランス電力公社（EDF）が3区域、国営原子力企業アレバとスペイン電力大手イベルドロラのコンソーシアムが1区域を落札した。残り1区域については、唯一の入札事業者となった仏公益大手GDFスエズと独シーメンスのコンソーシアムが提示した電力買取価格に関する条件が政府想定を上回り、落札企業の選定は今年後半に予定されている第2回目の入札に持ち越された。今回落札が決まった4区域はフランス西北岸の沖合に位置しており、建設が予定されている洋上風力発電施設の総出力は1.9GW超となる。2020年までに稼働する予定で投資額は合わせて70億ユーロに上り、1万人の雇用を創出する見込み。

ニュースリリース:

<http://www.economie.gouv.fr/eolien-mer-nouvelle-filiere-industrielle-france>

#### 【海洋エネルギー:英国】海洋エネルギー準備実証制度、公募を開始

英国のエネルギー・気候変動省は4月5日、海洋エネルギー・アレイ実証制度（MEAD）の公募を開始した。海洋エネルギーの次世代技術の創出を後押しするのが狙い。同制度は商業化されていない波力または潮力エネルギー発電装置のアレイ（配列）技術の実証プロジェクトを支援するもので、昨年夏に計画が発表されていた。支援総額は2,000万ポンドで、最大2件のプロジェクトが対象となる。選出プロジェクトは年内に発表される見通し。

ニュースリリース:

[http://www.decc.gov.uk/en/content/cms/news/pn12\\_043/pn12\\_043.aspx](http://www.decc.gov.uk/en/content/cms/news/pn12_043/pn12_043.aspx)

#### 【再生可能エネルギー:ドイツ】再生可能エネルギー業界の雇用者数、38万人以上に

ドイツ連邦環境省は3月26日、2011年の再生可能エネルギー業界の雇用者数が38万2,000人に達したと発表した。前年比で約4%増えたほか、2004年と比べると2倍以上に膨らんでいる。このうち、全体の約4分の3に当たる28万人の雇用が、再生可能エネルギー法（EEA）の効果で創出されたとしている。最も雇用者数が多いのは太陽エネルギー分野で12万5,000人が雇用されており、このうち11万1,000人は太陽光発電に関連している。次いでバイオマスの12万4,000人、風力発電の10万人強が続いている。この調査は、ドイツ政府の支援のもと、経済構造研究所（GWS）、ドイツ経済研究所（DIW）、ドイツ航空宇宙センター（DLR）バーデンヴェルテンベルク太陽エネルギー水素研究所（ZSW）が共同で実施した。

ニュースリリース:

[http://www.bmu.de/pressemitteilungen/aktuelle\\_pressemitteilungen/pm/48528.php](http://www.bmu.de/pressemitteilungen/aktuelle_pressemitteilungen/pm/48528.php)

#### 【CCS:英国】英政府、CCSの商業化プロジェクト支援を再開

英国のエネルギー・気候変動省は4月3日、10億ポンド規模の二酸化炭素回収・貯留（CCS）技術の商業化プログラムを再始動させた。同プログラムは昨年10月、スコットランドで計画されていた支援プロジェクトのコスト肥大化を受け、一時的に凍結されていた。政府はCCSを低炭素化の柱の一つに位置づけており、CCS施設の低コスト化を目指す取り組みを後押しする。入札の条件には、CCSの全工程を最終的にカバーできること、遅くとも2016～2020年までに操業を開始することが含まれる。また、政府は併せて、英国におけるCCS導入ロードマップを発表した。2020年までにCCS技術開発を進めることに重点が置かれており、商業化プログラムとは別に、研究開発（R&D）に1億2,500万ポンドを振り向けるほか、1億3,000万ポンドを投じて英国CCSセンターを設立する予定。

ニュースリリース:

[http://www.decc.gov.uk/en/content/cms/news/pn12\\_040/pn12\\_040.aspx](http://www.decc.gov.uk/en/content/cms/news/pn12_040/pn12_040.aspx)

◆◆◆「EBSインサイトレポート」2011/12年版 好評発売中！◆◆◆

◎「欧州の環境市場と環境規制 2011-12年版」(約150ページ) 10月20日発売



画像は2011-12年版です。

サンプルページは画像をクリック！

風力発電など一部では2010年に減速感が表れたものの、欧州環境市場の長期的な成長トレンドに変わりはない。低炭素社会への移行に伴い、再生可能エネルギーを中心に息の長い市場拡大が続くと期待される。脱原発を決めたドイツは、従来以上に再生可能エネルギーの利用を促進する方針だ。本レポートは最新の統計データを中心に、欧州環境市場の動きをまとめると同時に、市場拡大の担い手である先進企業100社について、その戦略と最新動向を紹介する。

また、環境市場の動向に大きな影響を与えているのが規制の枠組みだ。2050年までに低炭素経済を構築することを目指すEUの環境規制は、気候変動政策の枠組みだけでなく、今後の資源効率政策によって広範な産業に影響を及ぼす可能性が出てきた。企業にとって制約であると同時に成長のチャンスでもあるEUの環境規制について、過去1年間の新たな規制と今後ウォッチしておきたい協議中の規制の最新動向を解説する。

#### 主な内容

##### 環境市場と先進企業100社(約90ページ)

- 欧州の先進環境企業100社の戦略と最新動向
- 欧州環境市場規模の推移
- 太陽光発電市場の2010年実績と今後の成長見通し
- 風力発電市場の2010年実績と成長見通し
- 各国政府の支援制度の動向
- 分野別の成長予測

##### 環境規制動向(約60ページ)

- 2050年の低炭素経済構築に向けたロードマップ
- 原料戦略と資源効率ロードマップの見通し
- エネルギー効率指令案の概要
- エコデザイン指令の動向
- EU排出権取引の制度動向と炭素リーケージ
- 自動車(乗用車、バン、トラック)のCO2排出規制と乗用車エコイノベーション規則
- スマートシティ/コミュニティの促進
- 過去1年間の主要規制の改正動向
  - WEEE・RoHS指令、廃車指令、REACH、エネルギーラベル
- 留意したいその他の主要規制の今後の動向
  - Fガス規則の改正、エネルギーインフラ・プロジェクト支援に関わる規制、エネルギー税新指令 など

価格(PDF・全税別) : 680ポンド/780ユーロ/89,000円

サンプルページはこちら ⇒ [http://www.ebsukltd.com/report/pdf/sam\\_env2011.pdf](http://www.ebsukltd.com/report/pdf/sam_env2011.pdf)

レポートのご購入はこちら ⇒ <http://www.ebsukltd.com/report/index.html#link4>

◎「欧州エコカーの市場と戦略 - 欧州自動車産業 2011-12年版」(約100ページ)  
10月3日発売



画像は 2011-12 年版です。

サンプルページは画像をクリック！

欧州の自動車市場は大きな転換期を迎えている。ロシア市場や中東欧の一部を除けば規模の成長は頭打ちとなったものの、今や欧州から世界の今後の自動車産業を塗り替えるトレンドが生まれている。厳しい環境規制や様々な産業を巻き込む環境技術、激化する自動車各社の競争を背景にエコカーとエコカーを支える社会基盤が広がりを見せてきた。本レポートでは欧州のエコカー市場とそれを支える環境規制や基盤の最新動向をとらえ、欧州を舞台とした各社の戦略と市場の今後の見通しを明らかにする。また、欧州以外でも主要乗用車メーカーが世界各地で導入を予定しているエコカーをまとめた。さらに、ロシアを含めた欧州自動車の市場・業界全般の過去1年の動きについて、販売・生産統計や各社の展開を中心に網羅する。

#### 主な内容

- 欧州のエコカーと自動車市場をめぐる重要トレンド
- エコカー市場を支えるEUの規制と環境政策
- 電気自動車はじめ欧州エコカー市場の現状と見通し
- 主要乗用車メーカーの欧州を中心とした展開とエコカー戦略
- 各社が世界で今後導入を予定しているエコカーの一覧
- メーカー別の欧州の乗用車・商用車販売統計
- ロシアの自動車販売動向と市場の見通し

価格(PDF・全税別) : 480ポンド／550ユーロ／63,000円

サンプルページはこちら ⇒ [http://www.ebsukltd.com/report/pdf/sam\\_auto2011.PDF](http://www.ebsukltd.com/report/pdf/sam_auto2011.PDF)

レポートのご購入はこちら ⇒ <http://www.ebsukltd.com/report/index.html#link4>

#### ◎「躍進するインドの産業 -インフラ・自動車・エネルギー」 (約100ページ)

8月1日発売

力強い成長を続けるインド経済。本レポートは経済と投資環境に関するマクロ情報のみならず、自動車に加え再生可能エネルギー、鉄道、道路など注目を集めるインフラ産業の最新動向と見通しを解説。インドに進出済みの企業はもちろん、これから進出を目指す企業にとっても役に立つ情報を満載した。

#### 主な内容

- インドの経済・投資動向と日系企業の進出状況
- 日印CEPAとインドのFTAの動向
- 成長のカギを握るインフラ整備の現状と主要セクターの動向、主要プロジェクト
- 自動車の販売市場、生産の現況と今後の見通し
- 自動車部品の販売動向と見通し
- 政府の自動車関連の政策
- インドにおける乗用車メーカー各社の最新動向
- 需要急増するエネルギー: エネルギー分野の状況
- 再生可能エネルギー分野(風力発電、太陽エネルギー)の現状と可能性
- 石炭・ガス火力発電の動向

価格(PDF・全税別) : 18,000ルピー／250ポンド／280ユーロ／1,500AED／  
500シンガポールドル／33,000円(全税別)／410米ドル

サンプルページはこちら ⇒ [http://www.ebsukltd.com/india/pdf/sample\\_india%20report%202011.pdf](http://www.ebsukltd.com/india/pdf/sample_india%20report%202011.pdf)

レポートのご購入はこちら ⇒ <http://www.ebsukltd.com/india/index.html#a2>

◇◆当ニュースメール配信サービス希望者募集中! ◆◇-----

- 当配信サービスは無料です。どなたでもホームページからご登録いただけます。
  - 配信頻度は基本的に毎月ですが、都合により不定期になることをあらかじめご了承下さい。
  - 本サービスは弊社の都合により休止することがあります。
- ご登録はこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

◇◆当サービスのご利用に当たって◆◇-----

- ★登録内容の変更や配信停止はお手数ですが下記からお願い致します。  
<http://www.ebsukltd.com/newsletter/>
- ★ニュースメールに関するお問い合わせ、その他ご利用に際してのご不明点は下記へご連絡下さい。  
[news@ebsukltd.com](mailto:news@ebsukltd.com)

---

発信元◇EBS(UK)Ltd.  
1 Heathcock Court, 415 Strand, London WC2R 0NT, UNITED KINGDOM  
ウェブ: <http://www.ebsukltd.com/> メール: [news@ebsukltd.com](mailto:news@ebsukltd.com)

---

Copyright(C) EBS(UK)Ltd. 2011 掲載記事の無断転載を禁じます。

---

---

---

---

---